

日時	令和4年12月9日(木) 17時00分～19時15分		
出席者	代表世話人	(株)出雲	大坪 代表取締役
	副代表世話人	(株)柳澤製作所	阿南 社長付顧問
	世話人	丸山塗装工業(株)	丸山 代表取締役社長
	世話人	(株)一瀬製作所	一瀬 代表取締役
	世話人	大日運輸(株)	石井 代表取締役
	世話人	(株)大和真空	西口 代表取締役社長
	世話人	(株)カタ技術	片山 代表取締役
	世話人	門真市中小企業サポートセンター	菅沼 業務管理責任者
	世話人	門真市	高田課長、吉田課長補佐、児島主任、森本係員、藤島係員
	(計13名)		
場所	門真市中小企業サポートセンター分室		
議事概要	<p>1. 代表世話人挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 皆様、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。今年1年間大変でしたが、皆様頑張って頂き、年末を迎えることが出来ました。私が門真ネットに携わって10年経つがあまり良くはなっていないと感じる。いろんな問題が混在している。部会の悩みや活動で大変である中、個人に負担がかかっているため、門真ネットで協力して乗り切っていきましょう。皆様、一年間お疲れ様でした。どうぞ良いお年をお迎えください。 <p>2. 議案</p> <p>(1) 各部会の活動報告と今後の計画について</p> <p>① 生産性1.5倍部会(部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第39回の部会を11月14日に開催。改善活動が進み、かなり進化してきている。成果も出てきている。当初の狙いは、問題点を見つけることであった。幅広く意見を集め、知識を蓄積し、そこからどのように発展していくかが大切である。 次のステップとして中堅社員の育成が課題であり、育成を進めていかないと、仕事を任せることができない。人材部会とコラボし、全体的に底上げをしていきたい。 今後は、参加費1000円を徴収し、その費用は成果を出した企業に還元していく。 12月1月は繁忙期の為、次回は2月でモデル企業は大日運輸さんからスタートします。 <p>② 人材確保・育成事業部会(部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今月16日になみはや高校で分野別説明会を開催する予定。9社が参加予定。目的は、企業PR、生徒が就職に向けてどういった悩みがあるか等の相談の場を作る。それをきっかけに門真の企業の魅力を伝えて、応募に繋がればよい。 12月20日には野崎高校で初めての企業説明会を予定。人材部会の企業3社の参加を募っており、来週中に参加3社を決める。 		

- ・現在、活動していない中堅・リーダー勉強会については、以前参加していたメンバーを中心に来年1月からスタートしたい。年内に声がけしていきたい。
- ・人材部会は参加企業 20 社弱、いつも 10 社程度来る。

意見等：

- ・人材部会の活動の情報発信が限定的なため、活動内容を理解していない門真ネット企業が多い。人材育成は、どの企業も課題であるので、組織を挙げてやっていく必要がある。
- ・人材部会の活動についてもしっかりと明文化して、誰でも理解できるようにすること。
- ・門真ネット企業全体に情報発信を行い、情報を共有していかないといけない。みんな協力していくことが大切。
- ・事業計画で、どの学校に何回行くなど具体的内容を決め、活動しないと成果が出ない。そのやるべきことを世話人会で議論していく必要がある。
- ・人材部会は非常に重要な活動であるが、高卒がメインになっているため、中途に力を入れている企業等は参加していないということもある。
- ・今後、各町内会で、企業ごとの人材の取り組みについて意見交換し、情報を吸い上げていくことも大切。

部会長より：

- ・高卒メインの採用活動だけでも精一杯行っており、これ以上活動を増やすことや部会長として活動を続けていく負担が非常に大きい。部会長を交代していただきたい。

意見：

- ・テーマ毎で担当を分けることも良い。高卒、大卒、中途のテーマ毎で活動を行うと参加企業も出てくるのではないかな。また負担も減るのではないかな。
- ・世話人等で密に話や相談をしていくことが大切。
- ・お互いを尊重して、世話人会に参加しないといけない。全員が参加していないことも多い。
- ・人材部会の案内はメールでしているが、電話で1件ずつ連絡していくこともいいのではないかな。
- ・次回の定例会の際に、人材部会の活動を紹介するのが良いのではないかな。

結果：

- ・中堅・リーダー勉強会を再開する。
- ・人材部会の役割分担をきちんと決めた上で、活動内容等は門真ネット企業全体に一斉送信して情報発信する。

(2)ものづくり町内会について(担当世話人)

(3)子どもとの交流について(担当世話人)

- ・各町内会で企業をPRしつつ、子ども食堂等の子どもに対しての活動を来期中に各町内会で最低1回ずつは行っていただきたい。活動内容については各グループにすべて任せるが5グループが各1回、子どもに対する活動を行えば、合計5回となる。

- ・案の一つとして、キッチンカーを活用することが考えられるが、調理を地元飲食店に担ってもらう場合、その人が飲食店の営業許可を持っていれば、条件をクリアできる。世話人等、我々が調理を行う場合、営業許可を新たに取得する必要があり、ハードルが高い。
- ・許可等の必要がなく、やりやすいのは、門真市内の弁当屋さんの弁当を配る。
- ・活動を行う小学校はできれば地域内の小学校でお願いしたい。門真市ができるかどうかを小学校に確認してくれる。
- ・その他実施に当たって、わからないことがあれば市が確認してくれる。
- ・町内会のグループわけや子どもとの交流を行う目的は、各町内会で集まって何かを考えるきっかけや横のつながりを作って、今後の活動に活かしていくということ。また子どもとの交流の中で、門真企業のことを知ってもらうことが目的。
- ・各町内会で話して、その中で出た話は世話人会で議論していく。
- ・来期の活動に向けて、まずは今期中に、1回集まっていたきたい。

意見：

- ・町内会作った目的は、門真ネットに来ない企業に来てもらうというものがあるが、いきなり子どもとの交流の活動になると普段参加していない企業にはハードルが高いのではないか。定例会等に参加した企業に少しずつ案内していくのがいいのではないか。その中で、盛り上がってきたタイミングでスタートするのはどうだろうか。
- ・町内会で話して、世話人会で報告し、活動についての議論を進めていく。まず各町内会で数回意見交換していく必要がある。
- ・やはり目標を決めて進めていかないと町内会の活動が前に進まないと感じるので、子どもとの交流の活動の中で、各町内会が取り組むことが大切である。
- ・活動にはお金がかかってくるが、募金、協賛企業を募る。協力企業に対しては、活動の際に、パンフレットを置く等のことも行う。各予算は各町内会で行う。活動の中で余ったお金は門真市の子どもに対することに寄付する。

結果：

- ・各町内会で来期中に最低1回は子どもとの交流についての活動を検討する。内容については各町内会に任せる。
- ・今期中に1回は集まり、グループでの活動内容を議論する。

(4)情報発信について(担当世話人)

- ・門真ネットのフェイスブックの運営をどうするのかについて、門真ネットの活動内容を瞬時に発信していくにはSNSが1番良いと感じる。アカウントは中小企業サポートセンターが作る。
- ・投稿について気を付けないといけないので、投稿できる権限を予め決めておき、投稿した内容はその投稿者に責任があるということをルールとして運営していく。
- ・YOUTUBE アカウントについては、市が企業訪問をし、企業紹介を行う様子をサポセンが撮影する。撮影から編集までサポートセンターが担い、2週間程度で完成するため、月2回の更新頻度で来年4月からアップできるようにしたい。

- ・次の各町内会に参加した企業に投稿権限を与えること。来年4月までに最初の各町内会を開催する。各町内会で集まる日を門真市に報告する。町内会の際に、フェイスブックについての説明を行う。

意見：

- ・フェイスブックの運営や投稿のルールを文書として作成する必要がある。

結果：

- ・フェイスブックの運営・投稿等に関するルールをサポートセンターにて作成し、次回の世話人会で説明する。
- ・今期中に1回集まる町内会にてフェイスブックの運営について説明を行う。

(5)第11期総会について(市)

- ・第3回世話人会で、総会を2月に開催することが決議されており、日程を決めないといけない。
- ・来賓について、近畿経済産業局、大阪府、商工会議所の予定で、来賓あいさつは近畿経済産業局にお願いしたい。
- ・以前は総会を議場で開催し、懇親会を松心会館で行っていたが、松心会館が閉鎖されたため、場所についても検討する必要がある。
「議場、委員会室、仙亭、ルミエール」
- ・議場でやるのが良いが、議会の関係もあり、議場でやるなら2月初旬頃までとなる。
- ・例年、30社程度総会に来られる。

意見等：

- ・場所の候補としては、議場、委員会室、仙亭、ルミエールホールが考えられる。
- ・総会と懇親会を同じ場所で行うことが出来ないか。

結果：

- ・2月20日から3月3日の中で、候補日を決める。
- ・場所について、総会と懇親会を同一場所で行うことが可能と思われる、仙亭、ルミエールホールに問合せ、代表と調整する。
- ・部会の活動報告、活動計画は次回世話人会時には、完成形にできるよう、各部会で作成し、市でまとめる。

(6)定例会の再開について(市)

- ・第5回世話人会で、定例会の再開について議論し、引き続き議論することとしていた。
- ・コロナにより中止する前は毎月4週目の水曜日の18時30分から約1時間程度行っていた。
- ・内容としては、会員企業の事業紹介や市等の施策の紹介である。以前までの内容は門真ネットホームページに掲載している。

意見等：

- ・定例会の再開は是非行って欲しいとの声多数。

- ・会員企業のことを知る場でもあると思うので、各会員企業の取組紹介を行っていただきたい。
- ・そのとき話題となっているテーマのセミナーも良かったので、実施していただきたい。

結果：

- ・定例会を再開する話を進めていく。
- ・総会后、令和5年3月の再開を目指し、調整していく。毎月4週目の水曜日、18時30分から1時間程度で実施。場所は、サポートセンター分室。
- ・内容については、各会員企業の取組紹介や各種施策紹介、課題解決のためのセミナーとし、サポートセンターで調整する。

(7)第11期世話人会の体制について(市)

①意見等：

- ・世話人の数を増やしてほしい。
- ・世話人は、世話人という肩書だけでなく、何かを担当していただきたい。そうしていくことで個人の負担を分散していかないといけない。
- ・今期満了をもって、改選時期となる。代表、副代表について互選するとされている。世話人の数を増やしてほしいとの意見もあったので、推薦者がいれば推薦して頂きたい。

○次のとおり候補者の推薦があった

(株)古谷鉄工所、(株)広伸、栄光技研(株)、(株)大京精研、北次(株)、(株)イーエスエスジャパン、(株)銀扇、(有)和心、(株)ティエラ

②一瀬世話人より、世話人、人材部会長について、退任したいとの意見

意見等：

- ・学校の企業説明に行くのも負担となっている。世話人をもう一人付けて対応することで負担を減らすのはどうか。
- ・生産性1.5倍部会と人材部会を一緒の活動にするのはどうか。
- ・人材に関しては、各企業共通の課題であり、非常に大切な取り組みであるため、部会の体制を整える必要がある。今後に関しては、世話人を一人付ける等どうするか考えます。

結果：

- ・一瀬世話人退任の件は、一旦、副代表で預かる。
- ・代表及び副代表について、次回世話人会で互選し、案を固める。

決定事項（再掲）：

○人材確保・育成事業部会について

- ・中堅・リーダー勉強会を再開する。
- ・人材部会の役割分担をきちんと決めた上で、活動内容等は門真ネット企業全体に一斉送信して情報発信する。

○ものづくり町内会及び子どもとの交流について

- ・各町内会で来期中に最低1回は子どもとの交流についての活動をする。内容については各グループに任せる。
- ・今期中に1回は集まり、グループでの活動内容を議論する。

○情報発信について

- ・フェイスブックの運営・投稿等に関するルールをサポートセンターにて作成し、次回の世話人会で説明する。
- ・今期中に1回集まる町内会にてフェイスブックの運営について説明を行う。

○第11期総会について

- ・2月20日から3月3日の中で、場所及び候補日を決める。
- ・場所について、総会と懇親会を同一場所で行うことが可能と思われる、仙亭、ルミエールホールに問合せ、代表と調整する。
- ・部会の活動報告、活動計画は次回世話人会時には、完成形にできるよう、各部会で作成し、市でまとめる。

○定例会の再開について・定例会を再開する話を進めていく。

- ・総会后、令和5年3月の再開を目指し、調整していく。毎月4週目の水曜日、18時30分から1時間程度で実施。場所は、サポートセンター分室。
- ・内容については、各会員企業の取組紹介や各種施策紹介、課題解決のためのセミナーとし、サポートセンターで調整する。

○第11期世話人会の体制について

- ・一瀬世話人退任の件は、一旦、副代表で預かる。
- ・代表及び副代表について、次回世話人会で互選し、案を固める。

3. 閉会の挨拶（市）

- ・様々な課題がある中で、各世話人とともに活動を活性化させていきたい。
- ・次回の世話人会で、代表、副代表、世話人の体制についてご議論していきたいと考えている。